

“いきいき子ども！あたたか家族！はつらつ先生！” 地域が支える【教育の板橋】

“学び合う、学び続ける人づくり！” 地域を創る【教育の板橋】

教育長からのメッセージ

子どもの主体的な学びを促す「板橋区授業スタンダードS」

板橋区では小中学校の授業に「板橋区授業スタンダード」を導入しています。これは児童生徒の主体的な学びを促す授業形態で、先生による一方通行の（知識伝達の）授業ではありません。具体的には、まず授業の導入部で授業のめあて（目標）を確認し、一時間の授業が何をめざして何をするのかを明確にします。次に課題が設定され、児童生徒による自己解決、集団解決の時間があり、自ら考え、あるいは仲間とともに協働的に考えます。その後、考えたことや調べたことを児童生徒が発表し、先生が総合的にまとめ課題解決に至ります。このような授業では知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力を育成することができ、その結果、確実な学力向上につながっています。最近では「授業のめあて（目標）」だけでなく「授業の流れ」や「授業の内容」を板書していて、この授業では何をどのような順番で学ぶのかを視覚的にわかりやすく提示している先生もいます。このことで児童生徒は見通しをもった学習ができますので良い取組です。



教育長 長沼 豊

しかし、この授業形態では、児童生徒が主体的に取り組む場面はありますが、取り組む内容、方法、ペース、班のメンバー等は先生によって決められているため、多様なニーズ、興味関心をもった児童生徒の実態、学習状況等に合わない場合がでてきます。

そこで、昨年7月に教育長に着任して以来、児童生徒の自己選択、自己決定、自己調整の場面を取り入れた授業を推奨し、今年度から本格的に取り組む体制を整えました。具体的には、上記の自己解決・集団解決の場面で、先生に説明を聞きたい児童生徒、一人で取り組みたい児童生徒、仲間と一緒に学びたい児童生徒のそれぞれが、個々のニーズに合わせて「選べること」「自分で決めること」ができる形態です。例えば調べ学習では一人一台端末で調べても良いですし、教科書や別の本で調べても良いのです。一つの教室の中で、個々の児童生徒が自分の選んだ方法で取り組む形態です。学ぶ場所も選べるようにすれば、必ずしも自分の席ではない場所で学ぶこともできるのです。また、一時間完結の授業ではないものもあり得ます。例えば5回分の授業で、課題解決のゴールは決まっていますが、5回の授業の各回で進むペースを個々の児童生徒が決めて取り組むことができる授業です。

私はこの授業形態をこれまでの授業の進化形として「板橋区授業スタンダードS」と呼んでいます。Sは自己を意味するSelf、選択を意味するSelectの頭文字です。この形態の授業を実践するかどうかは先生もSelect（選択）することができるというSでもあり、したがって学校の全ての授業がこの形態に置き換わるわけではありません。

このような児童生徒の主体的な学びを促すことで、児童生徒が「自らの学びの主人公は自分である」と自覚してもらうことを意図しています。

次のページで「板橋区授業スタンダードS」を詳しく解説します！！

身近な教育委員会を開催します

【問合せ】教育総務課庶務係 ☎：3579-2603

板橋区では「区民が身近に感じる教育委員会の実現」に向け、保護者や地域の方との交流・意見交換の場として、年に2回「身近な教育委員会」を実施しています。

令和7年度第1回身近な教育委員会では、“不読率の改善～心を育む読書の大切さ～”をテーマに教育委員の山口委員にお話を伺います。その後、グループに分かれて参加者同士で意見交換会を行いますので、奮ってご参加ください。

日時	令和7年5月26日（月） 18時30分～20時15分（予定）
場所	教育支援センター（板橋区役所 南館6階）

こちらの二次元コードより申込を
お願いいたします。



板橋区授業スタンダードS

子どもたちが、自分に合った学習内容、方法、ペース、順序を
自己選択、自己決定し、学びを**自己調整**しながら進める学習過程

板橋区では、多様な子どもたち一人ひとりが、自らのよさや可能性を認識し、「生涯にわたって学び続ける力」を身に付けることをめざして「板橋区授業スタンダードS」を提案し、一層の授業革新に取り組んでいます。

「S」には、児童・生徒が自己選択できる【Self】【Select】の「S」と、教師が子どもたちの実態に合わせて選択する【Select】の「S」という意味が込められています。したがって、すべての授業、単元、学年、学級で一斉一律に授業の在り方を変えようというものではありません。各教科等の特性や単元・題材のねらい、子どもたちの実態に応じて、教師が教えるべきことは確実に教えるとともに、子どもたちが自己選択、自己決定、自己調整しながら学ぶ授業も取り入れていきます。これまでの「板橋区授業スタンダード」に加えて「板橋区授業スタンダードS」も行うことで、子どもたちの学びを一層充実させていきます。

板橋区授業スタンダードSを取り入れた授業のイメージ ※全ての授業で取り入れるわけではありません。

子どもたちの姿



友達と学ぶ



好きな場所で学ぶ



本で学ぶ



インターネットで学ぶ

誰と学ぶか、どこで学ぶか、何で学ぶかなど、学習内容、方法、ペース、順序を自分で決めたり、試行錯誤したりしながら学びます。

教師の姿



一斉一律の指導



個別の支援

教えるべきことは確実に教えるとともに、子どもたちの学びに寄り添って支援します。

「板橋区授業スタンダードS」の授業の在り方については、たった一つの正解はないと考えています。教育委員会では、今後も、すべての子どもたちの可能性を引き出す授業の在り方を追究して、先生方とともに研究を進めていきます。

授業に取り組んだ先生、子どもたちの声

【先生】子どもたちが粘り強く課題に取り組むようになりました。授業終了のチャイムが鳴ると「もう終わり？」という声が聞こえることもあります。

【子ども】最初は苦手だと思っていたけれど、いつでも先生に相談できるのがよいと思った。自分で調べたりまとめたりする勉強は、将来役に立つと思う。

「板橋区教科等指導専門官」を紹介します

平成30年度より、区教育委員会は、板橋区立学校において各教科等で授業力の優れた先生を「板橋区教科等指導専門官」に任命しています。区内の先生方へ授業の公開や指導助言を行うことにより、子どもたちの学びを中心に据えた「板橋区授業スタンダードS」等による授業革新を一層推進しています。

＜小学校＞

教科等	学校名	氏名
国語	北野小学校	高桑 美幸
算数	大谷口小学校	丸橋 和枝
理科	板橋第六小学校	秋葉 翔
音楽	板橋第六小学校	星野 朋昭
図画工作	志村第一小学校	田村 久仁子
家庭	成増小学校	菅 慶子
体育	北野小学校	宇田川 鉦介
特別活動	若木小学校	柏 範行
特別支援学級	中台小学校	錦谷 香江

＜中学校＞

教科等	学校名	氏名
社会	赤塚第二中学校	城山 真司
数学	上板橋第二中学校	井上 直大
外国語(英語)	上板橋第二中学校	山本 由紀
特別支援教室	板橋第三中学校	小熊 慎吾



【問合せ】指導室 ☎ : 3579-2643

新しい学校づくりを進めています vol.6

【問合せ】新しい学校づくり課 ☎：3579-2632

板橋区では、学校施設の老朽化への対応として、区立小中学校を改築し、より充実した学校生活を送るための施設整備を進めています。新しい学校施設をよく知っていただくため、近年改築された学校や、今後改築予定の学校の魅力を連載形式で紹介いたします。今回は、「ユニバーサルデザインを取り入れた学校整備」です。

板橋区の学校整備におけるユニバーサルデザインについて

板橋区は平成29年に「板橋区ユニバーサルデザイン推進計画2025」を策定し、すべての人にとって暮らしやすい地域社会の実現をめざしています。公共施設の新築・改築・改修などを行うにあたり、その施設や地域の特性、コストなどを総合的に判断し、だれもが利用しやすい施設となるようハード面・ソフト面から検討を重ねています。また、福祉のまちづくり整備指針を踏まえ、東京都と連携し、施設のバリアフリー・ユニバーサルデザイン整備を進めることとしています。学校整備においても、このユニバーサルデザインの理念を積極的に取り入れています。

ユニバーサルデザインを取り入れた学校整備の例

上板橋第二中学校（令和4年度より新校舎供用開始）

バリアフリースイートイレ



授乳室



出入口に近く、地域開放時や災害時等に利用しやすい場所に授乳室を設置。

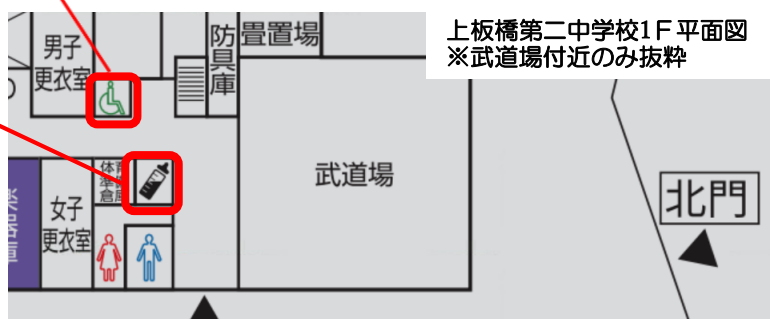
画像提供／TOTO

志村第六小学校

（令和7年度より長寿命化改修後校舎供用開始）



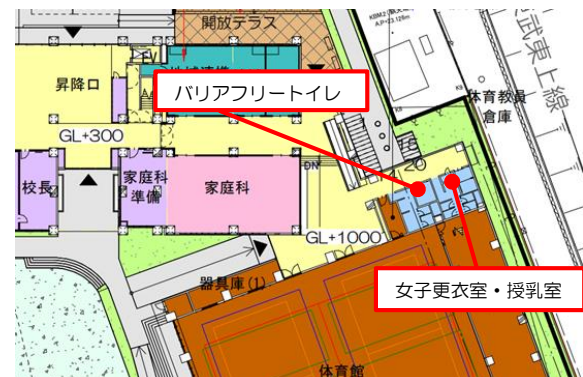
車いす利用者も使いやすい水道設備



上板橋第二中学校1F 平面図
※武道場付近のみ抜粋

これから改築を行う学校においても、ユニバーサルデザインを取り入れた学校整備を予定しています。

上板橋第一中学校（令和9年3月新校舎完成予定）



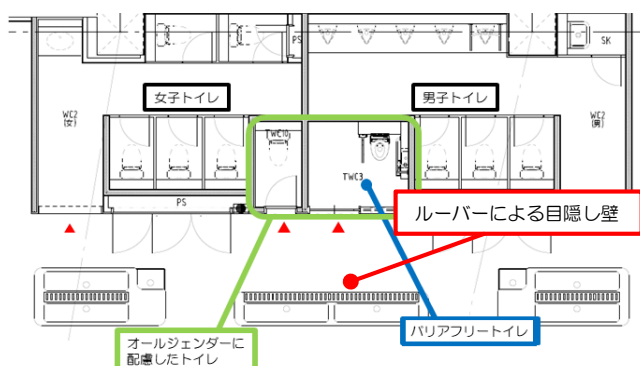
バリアフリースイートイレ

女子更衣室・授乳室

外から出入りしやすく、地域連携諸室や体育館に近い場所にバリアフリースイートイレや授乳室を設け、地域開放時や災害時等に利用しやすいよう配慮しています。

※上記の他、バリアフリースイートイレ兼オールジェンダー対応トイレや、車いす利用者も使いやすい手洗い場等は、各階に設けられています。

上板橋第一中学校の改築計画について、
詳細は区ホームページからご確認ください。

志村小学校・志村第四中学校 小中一貫型学校
（令和10年3月新校舎完成予定）

ルーバーによる目隠し壁

オールジェンダーに配慮したトイレ

バリアフリースイートイレ

男女別のトイレ、バリアフリースイートイレとは別に、オールジェンダーに配慮したトイレを各階に設置している。また、フィッティングボードの設置や、手洗い場の位置を工夫し、使用者がどの種類のトイレに入ったか見えにくいよう配慮している。

※上記の他、1階に設置される保健室を、状況に応じて授乳室として兼用する想定としています。

志村小学校・志村第四中学校 小中一貫型学校の
改築計画について、詳細は区ホームページから
ご確認ください。



※PDFで閲覧の場合、二次元コードや★のついた図をクリックいただくと、該当HPに画面が移ります。

郷土資料館 展示のご案内

【問合せ】郷土資料館 ☎：5998-0081

※開館時間9時30分～17時（入館は16時30分まで）

※休館日：月曜日（ただし祝日は開館し翌平日休館）

ミニ企画展

「ちょっと昔の道具Ⅰ 思い出の高島第四小学校」

展示期間：令和7年4月1日（火）～7月25日（金）

かつて都営三田線西台駅の北側の人口地盤の上に建っていた高島第四小学校の道具や案内板を中心に紹介します。

高島第四小学校で使われていた黒板消し
（板橋区立郷土資料館所蔵）



創立20周年の高島第四小学校
1993年発行『わたしたちの高島第四小学校』より引用

コレクション展

「日本刺繍～針と糸で紡ぎだす世界～」

展示期間：令和7年4月29日（火・祝）～8月8日（金）

着物や帯などに施された刺繍の技と表現を紹介します。

帯 紫縹子地梅樹鷹様模（部分）



刺繍額 鶴（部分）
鳶峰和美 作

不登校・不登校傾向の児童・生徒の保護者交流会

同じような悩みをもつ保護者同士で語り合い、また、情報を交換し合うことができる交流会を行います。
なお、前半は講師による講演、後半は保護者同士のグループトークを予定しています。

- 対象：区内在住または区立小・中学校在籍の不登校・不登校傾向の児童・生徒の保護者
- 場所：板橋区役所南館6階 教育支援センター
- 定員：各回40名（先着順）
- 参加申込：事前申込制（5月26日（月）9：00より区ホームページから申込を開始します）
第1回、第2回の申込期間などの詳細は5月24日（土）公開の区ホームページをご確認ください。※第3回、第4回の申込につきましては、9月上旬頃を予定しています。
- その他：生後4か月～未就学児の保育あり（先着順）



詳細はこちらから
ご覧ください
（24日（土）に公開）

	日時	講師	対象
第1回	令和7年7月5日（土） 9：30～12：00	黒後 茂（都立桐ヶ丘高等学校 校長）	中学生の保護者
第2回	令和7年7月12日（土） 9：30～12：00	三森 睦子 （星槎大学共生科学部 特任准教授）	小学生の保護者
第3回	令和7年10月4日（土） 13：30～16：00	杉山 雅宏（東京家政大学人文学部 教授）	小学生の保護者
第4回	令和7年10月18日（土） 13：30～16：00	杉山 雅宏（東京家政大学人文学部 教授）	中学生の保護者

※第5回、第6回は令和8年1月ごろの開催を予定しています。

【問合せ】教育支援センター教育相談係 ☎：3579-2195

学校訪問の様子を公開しています

教育長の学校訪問記を随時ホームページにて公開しています。文章と数枚の写真で、学校の風景・授業の様子・特色ある取組などを紹介していますので、ぜひご覧ください。



こちらから
ご覧ください



【問合せ】教育総務課庶務係
☎：3579-2603



●より魅力ある情報を発信するために
いたばし教育チャンネルについて、
アンケートにご協力ください。

